

## 第7回議員定数検討会 議事概要

令和5年10月24日 午前10時00分～午前11時20分

16名全員出席

### 1. 熊谷座長より

これまでの検討会の内容及び広聴会、報告会で出た意見、アンケートに対する回答を HP で公開する。それに伴い、修正すべき点等があれば今週中に事務局へ申し出ること。

本日は、一人ひとりから意見を聞き、最終的には多数決で一旦議会の総意としての議員定数を確定したい。その後、その案をパブリックコメントで市民の意見を改めて伺い、最終的に12月議会に上程したいと考えている。これより、各自の意見を伺う。

○議員各自が議員定数に関する意見を述べるに当たっての前提として(熊谷座長より)

- ・議員定数を検討する際の前提として、そもそも削減するべきか否かを議員各自で考えを整理し、それぞれが結論に至った理由を付して発言するものであること。
- ・議員定数が偶数であるか奇数であるかは、議会運営上の差異を生じることから、このことについても議員各自で考えを整理し発言するものであること。
- ・議員定数を削減することで、議員個々の責任は増大する。このことについても議員各自で考えを整理し発言するものであること。

### 2. 各議員より主な意見

○4減の主な意見

- ・人口減少の状況を踏まえ、議会運営が可能な範囲で議員定数を削減するべき。
- ・財政力を考慮し、身を切る改革を市民に示すべき。極力議員定数を削減するべき。
- ・地域性を考慮しても4減は可能。
- ・議員定数を12人としても、委員会構成は現状通り、1委員会を6人構成とすることで委員会運営は問題なく行える。

○3減の主な意見

- ・人口減少の状況や財政力を考慮し、極力議員定数は削減するべきだが、意見の多様性を確保する必要があり、4減は極端すぎる。

○2減の主な意見

- ・議会の持つ二元代表制の一翼を担うという役割から考慮すると、定数の削減は好ましいことではないが、人口減少の状況や市民の意見から、一定の削減は必要。
- ・これまで取り組んできた議会改革を通して、委員会の構成など議会の審議に一定の合理化が図られたことから、ある程度の定数削減をしても議会運営上問題ないと言える。
- ・一度に多くの削減は、意見の多様性の確保を損ない、議会審議や議会内の役員の割り当てに不都合を生じる恐れがある。

- ・議員定数を14人とし、委員会構成は現状通り、1委員会を7人構成とする。6人では審議が不十分。
- ・他市議会や、近隣市議会とのバランスを考慮すると、2減が最適。
- ・議員定数を削減する一方で、議会の見える化、議会広報の在り方などを改善するべき。

#### ○増減なしの主な意見

- ・これ以上議員定数を削減すると、市民の声が議会に届きにくくなる。意見の多様性の確保ができなくなる恐れがある。

### 2. 熊谷座長より

議員定数について採決を行う。

【暫時休憩の後、議員定数について多数決】

- ① 増減なし 1票
- ② 2減 11票
- ③ 3減 1票
- ④ 4減 3票

上記の結果、本市議会における議員定数については、一旦、2減の14人という結果となった。

今後のスケジュールについて、事務局より説明。

### 3. 熊谷座長より

【まとめ】

- ・今後、議員定数を削減したうえで、市民に本市議会のことを知ってもらうこと、市議会の動きに興味関心を持ってもらうことを改めて具体的に検討する必要がある。広報広聴委員会の構成も検討する。
- ・議員定数を削減したうえでの本市議会のあり方について、議会改革を不断に進める必要がある。

次回開催日はパブコメ終了後。改めて通知する。